

**日経BP環境経営フォーラム「第8回 環境ブランド調査」で13位にランクイン
～昨年度72位から大きく躍進！！～**

記者各位

～昨年度72位から大きく躍進！！～
日経BP環境経営フォーラム「第8回 環境ブランド調査」で13位にランクイン

当社(社長:西尾 進路)は、日経BP環境経営フォーラム主催※の「第8回 環境ブランド調査」において、総合ランキング13位という高い評価を受けましたので、お知らせします。

本調査は、日経BP環境経営フォーラムが主要560社を対象に、各企業の環境に関する活動が一般の消費者の方々にどう伝わっているかについて、インターネットを利用したアンケートにより実施されたもので、企業の環境に関する「評価」「イメージ」「情報への接触度合い」などを総合勘案し、日経BP独自の指標である「環境ブランド指数」で順位付けされております。

当社は、昨年度の総合ランキング72位から今年度13位と大幅に順位を上げ、とりわけ、環境イメージでは、「地球温暖化防止に力を入れている」で全社中3位、「汚染物質の使用削減や排出抑制に努力」で同9位と高く評価されております。

当社は、2005年1月より、将来の環境規制を先取りしてサルファーフリー化(硫黄分10ppm以下)を実現した環境ハイオク「ENEOS NEW ヴィーゴ」をはじめとする「サルファーフリー燃料」を製造・販売しています。また、当社が推進する、原油生産に伴う随伴ガスを回収・有効利用した「ベトナムランドン油田プロジェクト」は、2006年2月、世界で初めて、国連機関(CDM理事会)からCDMの承認を受けました。このプロジェクトは、CO2を直接削減するプロジェクトとして世界最大級のものであります。

さらには、2006年度に当社グループ全体※※で「ゼロエミッション」を達成したほか、未来のエネルギーと期待されている燃料電池システムの商品化を実現しております。こうした環境負荷低減努力が、消費者の方々に伝わり評価された結果、この度の大幅なランクアップに繋がりました。

今後も、当社グループは、経営理念として掲げる、「Environmental harmony『地球環境との調和』」を目指し、環境への取り組みを積極的に進めてまいります。

※日経BP社が、地球環境の保全と企業経営の持続的発展を支援する目的で、2000年に設立した。現在、170社(5月末時点)の協賛企業と共同で、環境経営に関する研究会活動や調査などに取り組んでいる。

※※新日本石油開発(株)、(株)NIPPOコーポレーションを除く。

記

1. 調査概要

(1)調査期間:2007年3月26日～4月27日

(2)有効回答人数:21,153人

(3)調査対象企業:560社

2. 当社のランキング推移 ()内は調査対象企業数

2007年度	2006年度	2005年度	2004年度	2003年度
13位 (560社)	72位 (544社)	85位 (544社)	105位 (560社)	189位 (560社)

以上

 [固定酸化物形燃料電池\(SOFC\)実証研究について](#) (PDF:103.0KB)